

# 高野長英、直江津に潜伏 ②

秋の収穫期も終わりに近づき、日本海の波が次第に荒れだしたころのある日、百喟の塾へ商人風の男が二人現われ、書生が玄関へ出ると、名も名のらずに「百喟先生に取り次いで欲しい」といい、名を尋ねても「先生に会えば分かります」という。書生は追い返そうとしてもだめなので、商人風の二人を裏口へ回わして、百喟に取り次ぎました。

男は書生が去ったのを見届け、はじめて小声で「高野長英です」と名のりました。百喟はその雰囲気を感じ、だまつてうなづき、この変わった二人の客人を二階の座敷へ通しました。

この旅商人こそ、いま幕府が草の根を分けても探し出したい、追手のきびしい高野長英と越後蒲原生まれの弟子清吉でした。

長英は、文化元年（一八〇四）



(98) 渡辺慶一

奥州水沢藩の医師の家に生まれました。偶然にも小林百喟と同年です。そして長崎へ遊学して、有名なシーボルトに蘭学を学び、日本の代表的な蘭医・蘭学者となりました。渡辺華山らと交わり「尚歯会」を組織して、当時のインテリ社会の指導的地位にありました。しかし、長英は華山とともに、



小林百喟  
（慶応元年  
下岡連杖撮影）

んとしても、この人を助けてやりたい一心でした。

なぜ脱獄しなければならぬかの質問に対し、長英は

『獄舎の火災後、三日以内に戻れば罪一等か二等減じられるのだが、私の場合は駄目です。將軍家齋が死んで（天保十二年）大赦がでたときも、私だけその恩典はうけていません。それに私や華山をおとし入れた怪物鳥井耀蔵が江戸町奉行に昇格して力んでいるし、ついこの間、その相棒の水野（越前守忠邦）がまた老中に帰り咲きましたからね。これじゃ出獄の見込みがありません。私には洋学についてやらなければならぬ仕事がたくさんあります。牢屋にいてさえ勉強しているのです。もう一つ私には郷里水沢に老母（六十五才）がいます。一目でも老母に会って永年の親不孝を詫びたいのです』

長英はこのような悲壮な覚悟で脱獄し、知人・門弟・医師などへかくれ、幕吏の目をごまかすために、わざと薬で顔を焼き、百喟も最初会った時に、長英かどうか疑わしいほどの大火傷をしていました。

では、長英はどうして直江津あたりの百喟を訪ねてきたのでしょうか。百喟と長英とどんな関係があったのでしょうか。（つづく）

なんら関知しない無人島渡航事件の疑惑を受け、また『夢物語』を著して幕府の外国船打払令が不当であることを論じたため、いわゆる蛮社獄に連坐し、天保十年（一八三九）十二月二十八日以来、小伝馬町の獄舎に永牢、すなわち終身懲役になっていたのです。それを牢屋の火災に出獄を許されたのを幸に、脱獄して逃げ回わり、いま突然直江津へ来て、小林百喟を訪れたのであります。百喟は長英のことはよく知っていたし、れい明日本のために、な

# 高野長英、直江津に潜伏 ③

高名な高野長英が、小林百晡を知っていたのは、学問のつながりであり、単に学問のつながりといっても、分かりにくいでしょうが、長英の愛弟子に内田五観がいたからです。（百晡の孫・故陸軍大佐小林直二氏および福永好次郎氏談）

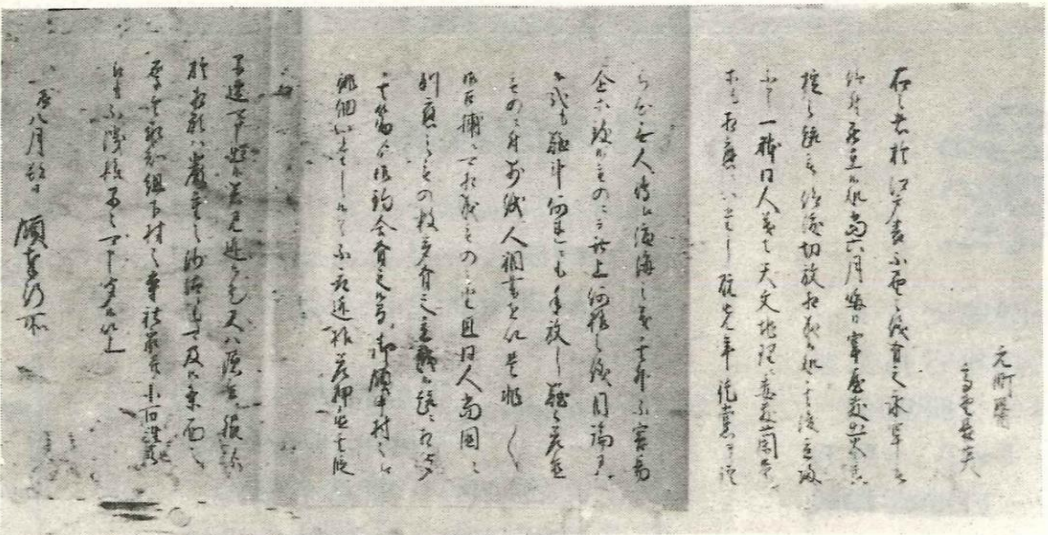
百晡は、高田藩の蘭学者小山杉溪から蘭学の基礎を習って自分で勉強しましたが、江戸へ出ること

大肝煎所（福永家）の前に貼り出されています。召捕状には

元町医 高野長英

右の者江戸において、不届の行為あり終身懲役を仰付けられ、入牢中去る六月晦日、牢屋の火災にまぎれて脱走した。同人は天文地理に詳しく蘭学もでき、先年徒党を組んで、無人島へ渡海を企てた者で、この上どんなことを企てるかわらない。いづれにしても放っておくことができない危険人物だ。是が非でも探し出さねばならん。よって人相書を添えて掲示する。同人は越後でも知り合いが多いという風聞がある。もし見付けたら早速取り押え役所へ届け出よ。もし匿したりして、あとで知れたら嚴重に処罰する。この旨を領中の各組下寺社百姓小前の者共へよく通達せよ。

百晡は天文・数学・暦法・易学西洋砲術に長じていました。天文と測量は、五観と同時に京都の土御門家に学び、ともに免許皆伝と師匠格を許された同門・同学の關係で親しく、百晡は江戸へ行くたびに五観を訪ね、その紹介で長英を知り、学問の上で彼と親しくなつたという訳です。



長英逮捕状

今様の文章に書き変えるようになります。文中にあるように、越後には百晡のほかに長英の知人や弟子があつたかどうか、蒲原のほうにあつたようだという目下調査中です。

辰八月朔日

領奉行所



(99) 渡辺慶一

に長英を訪ね西洋砲術や洋式訓練のことなど指導を受けました。そんなことで、百晡は今その恩誼に報いようとしています。しかし、長英は囚人。脱獄者です。幕府のおたずね者です。長英の召捕状（逮捕状）と人相書は、向いの

(つづく)